

新しい体制のもと 気持ちを新たに

島尻消防佐敷出張所の開所式が4月1日、島尻消防佐敷出張所構内で行われました。東部消防組合の管轄であった南城市佐敷地域が島尻消防本部に移管することに伴うもので、地域住民が安全・安心して暮らせるよう署員たちは気持ちを新たにしています。また、東部消防組合から職員も加わり、新規採用者も含めて68人から80人に増員されます。新しい体制で地域住民のサービス向上を目指し取り組んでいきます。



「生きがい」「元気」「安心」を目的に 八重瀬町高齢者保健福祉計画を策定

昨年10月に、中村信吉八重瀬町長から諮問があった「八重瀬町高齢者保健福祉計画」策定について同委員会の久手堅憲一委員長が3月25日八重瀬町役場を訪問し、同計画の答申を行いました。本計画は、高齢者が地域生活を「生きがい」「元気」「安心」をもって過ごすことができるように、総合的に高齢者施策を掲げた計画です。久手堅委員長は、「介護予防事業や福祉サービスのほか、地区コミュニティネットワーク、高齢者の生きがい活動の充実、グループホームや高齢者住宅の確保」や「特定健診・特定保健指導及び住民の積極的な健康づくり活動に係る関係課の連携」などについて要望しました。



「無事カエル」ことを祈願して カエルのマスコットを寄贈

具志頭児童館の母親クラブが4月2日具志頭小学校（渡名喜庸清校長）新一年生53名と新城小学校（真玉橋初子校長）新一年生17名に交通安全を祈願したお守りとして手作りのカエルのマスコットを寄贈しました。カエルのマスコットは生徒たちが「無事カエル」願いを込めて作られたもので、安里真紀母親クラブ会長から両学校の校長先生に手渡されました。



真玉橋初子新城小学校校長



儀間真栄具小教頭先生と安里真紀母親クラブ会長

農家が安定して農業に取り組めるために 農林水産物生産奨励協定

琉球ジャスコと八重瀬町が3月20日、八重瀬町役場で農林水産物生産奨励協定を締結しました。本町の農林水産業を発展させることが目的で、これを機に両者が生産と販売で協力していきます。まずは、特産である八重瀬町のピーマンを県内のジャスコ関連店舗で販売していきます。中村町長は、「販路の確保を図ることで農家が安定して農業に取り組める」と農産物の安定供給に期待を寄せています。

八重瀬町 平成21年度 農産物販売奨励協定締結調印式



内容盛りだくさん 文庫まつり

ぐしかみ文庫連絡会が主催する「第1回文庫まつり」が2月28日、具志頭児童館で行われました。午前中は、町内を中心に平和講演などを行っている崎原真弓さんの読み語りや玻名城文庫による大型絵本の読み聞かせ会。午後は母親クラブによるバザーや沖縄地域児童文庫連絡協議会から借用した木の玩具展示会、沖縄子どもの本研究会のマスケット作りなど内容盛りだくさん。八重瀬町社会福祉協議会からの助成や関係団体、個人の協力もあり、多くの方が楽しめる文庫まつりとなりました。



公民館まつり囲碁大会

公民館まつりの1日目にあたる3月7日、囲碁大会が行われました。囲碁愛好家44名が参加し各リーグに分かれて、碁盤をにらみ熱い戦いが繰り広げられました。対局結果は、Aリーグ（四段以上）優勝 長嶺勝雄、準優勝 下地勇榮 Bリーグ（三段）優勝 福地栄盛、準優勝 杉田豊 Cリーグ（二段）優勝 伊福正春、準優勝 松吉良栄 Dリーグ（初段）優勝 具志堅 清村定一、準優勝 野村實 Eリーグ（3級）優勝 具志堅 正徳、準優勝 神谷誠次でした。優勝、準優勝のみならずには、健闘を称え賞品が贈られました。



貴重な自然を守っていくために 地域観光資源保全協議会シンポジウム

自然や文化財など貴重な資源を有する具志頭・玻名城地域を調査し観光の活用を考える「地域観光資源保全協議会シンポジウム」が3月14日具志頭改善センターで開催され、約200人が参加しました。本協議会の調査により玻名城地域海岸一体に数億年前から沖縄近海に自生する海藻・カサノリが多く群生していることがわかりました。そのカサノリの研究を行っている独立行政法人理化学研究所特任研究員の石川依久子さんから、「カサノリの観光資源としての優位性」を演題に講演し、「カサノリは世界で沖縄にしか生息していない、5億年前から存在する生き化石」と貴重な生物であることを訴えました。パネルディスカッションでは、石川さんと仲間一雄具志頭区長、NPO沖縄鍾乳洞協会の山内平三郎理事長、土地良則企画財政課職員が登壇。貴重な自然を守っていくために情報の共有化が必要であることが話し合われました。



具志頭支店ピーマン専門部会が 農林水産大臣賞を受賞

具志頭支店ピーマン専門部会が3月12日、「第14回全国環境保全型農業コンクール」で農林水産大臣賞を受賞しました。3月19日には、新里聡会長や農協、県の普及センター関係者が中村信吉町長に受賞を報告しました。同コンクールは、全国環境保全型農業推進会議が農村環境保全を通じて地域社会の発展に貢献している農業者・団体を表彰するもの。具志頭支店ピーマン専門部会では、66戸の農家全てがエコファーマーを取得し、環境保全型農業を実践しています。それが高く評価され今回表彰となっています。新里会長からは「これまでの地道な取り組みが評価されてうれしい。農協や行政など関係機関の協力も大きかった」と喜びを語りました。

